

豊かな体験を通して日々成長する兼次っ子！！ 😊

笑顔×チャレンジ＝心豊かな成長 😊



校歌制定年昭和八年

作詞 平敷 兼仙

作曲 宮良 長包

一、青史彩る北山の

城下にそびゆる高樓は

北山健児八百が

知徳を磨く学びの舎

二、祖先の遺跡あおぎては

覇氣と意氣とを偲びつつ

いざやからだと知を磨き

郷土を興す民たらん

三、その名もゆかしげま川

清き流れを心とし

ゆるがめ意志はくばの嶽

誠の道にいそしまん

四、くばのお嶽は天津神

あもりましける尊き地

普遍の神の心もて

なべてのものを育まん

最後に、校長のひとりごと・・・です。

兼次小学校での一年間を振り返ると、本当にあっという間の毎日でした。

でいーわーちゃー精神に育まれた兼次小学校だからこそできる教育とは何か。そして、目の前の子どもたちにとって本当に大切な“学び”とは何か。そんなことをヤギの世話をしながら、日々考え過ぎてきました。

「人は、人間として生まれ、人との関わりの中で“人”へと育っていく。」

だからこそ学校は、知恵を学ぶ場であると同時に、人として育つ場でもあるのだと思います。兼次小学校で育まれる“学び”とは、

☆ちむぐる（豊かな心を育てる）☆じんぶん（学びを知恵に高める）

☆でいーわーちゃー（仲間と共に挑戦する）これが、兼次っ子の学びだと思っています。

これからも、“でいーわーちゃー笑顔でチャレンジ！”を愛言葉に、職員一同、一笑懸命、顔晴っていきます。今後とも兼次っ子の成長と学校を温かく見守ってくださいね。